

平成 29 年 7 月 27 日

長野県感染対策研究会  
代表世話人 本田孝行  
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会  
担当者 堀内 一樹

## 信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS) による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告 ～2017 年 6 月データについての報告～

(データ集計日：2017 年 7 月 24 日 集計対象施設数：56 施設)

2017 年 6 月の VRSA、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。

### <VRE の分離状況について>

北信地区で VanB 型の VRE が 1 株分離されました。分離施設において感染対策を実施しております。長野県全体の分離率は 0.02 %、JANIS での全国の実分離率は 0.02 % (2015 年 10 月～12 月四半期報) でした。全国的にも分離が稀な耐性菌のため、今後の動向に注意が必要です。

### <MRSA の分離状況について>

長野県全体の分離率は 6.61 % でした。JANIS での全国の実分離率は 6.47 % (2015 年 10 月～12 月四半期報) であり、全国と比較すると高い分離状況が継続しています。また、兼ねてより分離率の高い南信地区では、3 カ月連続で分離率の低下が認められています。

### <多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は 0.06 % でした。東信地区で 1 株、南信地区で 2 株の分離が認められており、いずれも異なるご施設からの分離です。JANIS での全国の実分離率は 0.07 % (2015 年 10 月～12 月四半期報) であり、全国と比較するとやや低い分離状況にあります。なお、1 例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

### <第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は 2.75 % でした。県全体の分離率に大きな変化はありませんでしたが、中信地区での分離率がやや上昇しました。JANIS での全国の実分離率は 2.02 % (2015 年 10 月～12 月四半期報) でした。JANIS で 2015 年集計分より用いられている第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSS での判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から 3 例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

お問い合わせ先  
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子  
TEL; 0263-37-3493、 e-mail; erika@shinshu-u.ac.jp